

## 患者さんへ

# 「脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の予防効果の 遺伝子背景に関する研究 –J-STARS Genomics–」について

### 1. はじめに

臨床研究とはより良い診断や治療のために医学的なデータを得るさまざまな研究のことを言います。今回の研究は、診療記録・画像検査・血液検査等の試料・情報を用いて調査する研究です。

### 2. 研究について

【目的】脳梗塞の再発予防に HMG-CoA 還元酵素阻害薬（スタチン）が有効であることは海外ですすでに証明されており、多くのエビデンスがあります。本邦においても我々が行った J-STARS 研究において非心原性脳梗塞患者のアテローム血栓性脳梗塞の再発予防効果に有効性があることが証明されました。しかしながらスタチンの有効性の差異など遺伝子背景における影響は多様性が示唆されています。本研究は非心原性脳梗塞再発予防におけるスタチンの効果と遺伝子の関係性について調査することを目的としています。

【対象】当院において本研究の説明を受け、文書にて同意いただいた方。

【方法】本研究は J-STARS 研究に参加していただいた患者さんを対象にしています。同意が得られた患者さんから血液を採取し、SRL 社の「遺伝子・染色体解析センター」にてゲノム DNA を抽出します。抽出した DNA は広島大学に輸送され保存します。広島大学に保存した DNA は必要に応じて共同研究機関（株式会社サインポスト、九州大学、国立循環器病研究センター など）に輸送され SNP 解析を行います。SNP 解析の結果は血液検査所見、頸動脈エコー所見、MRI 所見との関連を横断的に調査し、スタチン投与例と非投与例における脳卒中再発の有無についての影響を検討します。

【研究代表者】 広島大学病院脳神経内科 教授 丸山 博文

【共同研究機関】

株式会社サインポスト（山崎義光）九州大学（北園孝成）医療イノベーション推進センター（菊池 隆）国立循環器病研究センター（豊田一則）大阪大学（岡崎 周平）その他 J-STARS 研究参加施設

【研究予定期間】研究許可日 ～ 西暦 2028 年 3 月 31 日

### 3. プライバシーの保護

この研究で得られた情報を取りまとめるために、共同研究機関にあなたの情報を提供しますが、あなたを特定できる情報は記載しません。また、この研究結果は学会や医学雑誌などに発表されることがありますが、個人が特定できないように配慮され、あなたのお名前や住所などが明らかになるようなことはありません。

### 4. 研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

### 5. 当院の研究責任者への連絡

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく研究責任者に申し出てください。

担当（診療科・部署）：星ヶ丘医療センター 脳卒中内科

研究責任者：高橋 務

連絡先電話番号：072-840-2641

### 6. 試料・情報の提供を行う機関の名称とその長の氏名（試料・情報の管理責任者）

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 院長 細野 昇